

## 凍結による給湯器の破損（故障）予防の御願い

---

- ☆ 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- ☆ 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

### 給湯器内部には、凍結を予防する機能がついております。

---

- ・ 機器は、気温が凍結する温度に近くなると、凍結予防ヒーターや循環ポンプの作動などで凍結予防するため、電源プラグを抜かないでください。
- ・ 給湯器の機器内の凍結予防ヒーターが、凍結の危機の温度近くになると自動的に作動しますので、電源プラグは抜かないでください。  
(リモコンの運転ボタン 入・切に関係なく凍結予防します)
- \* 給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。  
保温材または電気ヒーターを巻くなどの、地域に応じた処置をしてください。  
【(電気ヒーターは、1m 3, 500円 (税別)～となりますのでご確認ください)】

### 凍結してしまった時の対処法

---

- ① リモコンの運転スイッチを「切」にする。(「入」にしていると燃焼する場合があります)
- ② 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。
- ③ すぐにお湯を使いたい場合は、ヘアードライヤーで給水バルブ等を温め解凍を促す。
- ④ 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れなどがないかよくご確認のうえ、使用してください。

注1 給水バルブ等に熱湯をかけますと、急激な温度変化によりバルブ等を破損する恐れがありますので注意してください。

注2 自然解凍を待っている時に、給水栓を開にしてリモコンを「入」にしておきますと、解凍していくにしたがって、お湯(ガスが燃焼)が出た状態となります。  
注2の状態でお出掛けなどなさらぬ様注意してください。



クリーンエネルギー 天然ガス  
**いせさきガス**

連絡先 0270-25-4520